事務事業調書	No	676	課 名	教育センター	起 案 者	向井義則
平成23年度			係 名	研究指導係	決 裁 者	杉山春記
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	14
事務事業名	教育情報活用事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 3 情報化への対応	予算科目(会計)	
		予算科目(款・項・目)	
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	4-3-2-3-3
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	無		
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 平成06年度	経 過 17年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	小中学校の教職員が	～になる	手軽に最新で適切な教育情 報を手に入れ活用できるようになる
事務事業の内容	①学識者や学校関係者からなるデータ審査委員会を開き、教育センターのホームページの内容が適切であるか、有益なものになっているかなどについて指摘してもらい、その意見を基に改善を図る。②新規購入教材などの情報を定期的に流すことで、教育活動に有効な情報を随時提供する。③安城市教育情報ネットやアンサーバーを活用して、情報の交換や共有化を図る。			
事務事業進捗状況	①平成１１年度よりデータ審査委員会を開催し、安城市視聴覚センターのホームページの内容について学識経験者等からアドバイスをいただいています。②毎年度１回研修会を継続して開いています。③平成１８年度より安城市教育情報ネットやアンサーバーが完成し、教職員一人一人がそれぞれのパソコンから情報を取ることができるようになりました。④平成１９年度、２０年度で教育センターに保管している教育論文や自作教材ビデオが、アンサーバーを通して職員室のパソコンから見られるようになりました。			
改善・対策の履歴	・教育論文や自作教材ビデオなどを教職員が共有化するためにアンサーバーに掲載し、各校の職員室から見られるように改善しました。（平成１９年度、２０年度） ・教職員の事務軽減をめざすため、校務支援ソフトをモデル校２校で試行していましたが、平成２３年度は全中学校へ、また、２４年度は全小学校へ導入予定としています。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		37,041	34,810	26,235	24,810	27,765	25,281	48,776
	財 源 計 a		30,565	28,334	19,759	18,334	21,289	18,805	42,300
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	30,565	28,334	19,759	18,334	21,289	18,805	42,300
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		6,476	6,476	6,476	6,476	6,476	6,476	6,476
	内 訳	従 事 職 員 数	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	アンサーバーの活用	見込(単位)	200.00	200.00	200.00	300.00
				実績b(単位)	180.00	0.00	300.00	
		指標名(単位)	活用人数(人)	活動の総事業費f 実績	753	753	1,130	
				単位コストg=f÷b 実績	4.18	0.00	3.77	
	活動②	活動名（活動内容）	データ審査委員会の実施	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	会合回数(回)	活動の総事業費f 実績	81	81	81	
				単位コストg=f÷b 実績	81.30	81.30	81.30	
	活動③	活動名（活動内容）	情報教育支援	見込(単位)	2,000.00	2,030.00	2,030.00	2,000.00
				実績b(単位)	2,320.00	2,030.00	2,030.00	
		指標名(単位)	派遣時間(時間)	活動の総事業費f 実績	13,227	9,888	9,888	
				単位コストg=f÷b 実績	5.70	4.87	4.87	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	アンサーバーの文書数(ファイル)	見込(単位)	2,800.00	3,100.00	3,100.00	4,100.00
			実績(単位)	3,019.00	3,430.00	3,660.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	・新規購入教材情報は、年間３回全員に配信されました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	・適切な指摘がいただけるデータ審査委員会は、コストパフォーマンスが高いと考えます。
	成果1，2	・アンサーバーやメールでの情報交換が可能になったことにより、校内での教員同士の連絡時間や校外の連絡会が減り、教職員の負担が軽減しました。今までFAXで送っていたものもメール添付で遅れるようになり、FAXの費用も減りました。また、ペーパレスの促進にもつながりました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	・安城市教育情報ネットの活用をよりいっそう進め、市内教員の教育財産の共有化を図ります。・児童生徒の教育活動の充実を図るための、教職員の事務軽減支援策について進めていく必要があります。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	教職員の多忙化解消の一つの方策として、今後の活用について研究を深めます。